

学校応援プロジェクト 2022 年度活動報告

中央大学附属横浜中学校進路・キャリア学習プロジェクト

6月18日（土）、2022年度初めてとなる進路・キャリア学習プロジェクトを中央大学附属横浜中学校にて実施しました。今回の取り組みは中央大学が実施する「中央大学と附属校の教育連携プログラム」の一環として、中学校3年生に「大学で学ぶということ」について具体的なイメージをもってもらい、進学や将来のキャリア形成について考える入口とすることを目的としています。

当日は、中央大学附属横浜中学校・高等学校の卒業生を含め、大学1年生から大学院生まで、総勢32名のプロジェクトメンバーが参加しました。



今回の内容は次の3つです。中学3年生5クラスそれぞれに分かれて実施しました。

- ①「大学」「大学での学び」についてのガイダンス
- ②アイスブレイク
- ③班単位の進路、キャリアに関する懇談・相談

はじめに、「大学」「大学での学び」についてのガイダンスです。中学校3年生が対象であることから、まずは「大学ってどんなところ？何をするとところ？」「学部って？」ということ、具体的な例をあげながら説明していきます。プロジェクトメンバーのとある1日のスケジュールを紹介するパートもあり、中学生は真剣に聞き入っていました。

一通りの説明が終了すると、「次は大学のキャンパスを紹介します！」ということで、多摩・後樂園・市ヶ谷田町の3キャンパスを動画でめぐるキャンパスツアームービーを上映します。少しでもキャンパスを体感してほしいという思いから、今回のために学校応援プロジェクトが作成したオリジナル動画です。各キャンパスに通う学生が「ここは紹介したい！」と思ったスポットを、各キャンパスの入り口からめぐっていきます。生徒はもちろん、中学校の先生方、プロジェクトメンバーも前のめりで見ている様子が印象的でした。生徒のみなさんからは、「今度行ってみようよ！」という声が多く聞かれ、撮影や編集の苦労が吹き飛ぶ思いでした。



小休止を挟み、後半は班ごとの活動にはっていきます。学校応援プロジェクトが行う進路・キャリア学習では、生徒のみなさんがただ説明を聞くだけの機会とせず、大学生と対話することで進学を含めた自分の将来や進路について考える時間をつくることを大切にしています。今回も、1クラスを6つの班に分け、それぞれに大学生が1名入って進路やキャリア、大学生活についての懇談を2-3ターム行います。とはいえ、中学生が初対面の大学生と少人数でいきなりお話してくださいと言われても難しいのが現状です。

そこで、緊張をほぐし、大学生との心の距離を縮めるため、「アイスブレイク」として、一緒に楽しめるミニゲームを用意しました。「共通点探しゲーム」として、進行役から出されたお題（例：「寿司ネタで好きなのは何？」「好きなアーティストは？」など）の答えを一斉に書き、「セーの！」で共有します。



そして、班の中で答えが同じだった人の人数をお題に対する得点として、合計点を班で競います。生徒みんなが回答でき、回答内容を話題にして盛り上がる事ができるものを…ということで、知恵を絞りました。

はたして、中学生が楽しんでくれるか、参加してくれるか心配しましたが…いざ開始すると、お題を出すときの効果音が出たところから生徒たちは大盛り上がり！

あちこちで笑い声や歓声があがり、生徒と大学生とが自然に会話できるようになっていきます。

ほどよく緊張がほぐれたところで、そのまま班ごとの懇談にうつります。「大学でどんなことを学んでいるのか」「サークルやアルバイトはどんなものがある？」「中学や高校でどんなことをやっておいた方がいいですか？」等、あちこちで会話が弾みます。自分の時間割やゼミで研究していることについての資料を見せるメンバーもいて、生徒にとってはよりリアルな大学生のイメージをもつ機会となったのではないのでしょうか。10～15分で班を担当するメンバーを入れ替え、生徒は異なる学部・学年の大学生と話をすることができました。

2コマ、約100分があつという間にすぎ、最後は各クラスとも拍手と笑顔で終了することができました。後日ご協力いただいたアンケートからは、「実際の体験を具体的に聞くことができたのでとても良い経験となりました。自分の将来について正直まだ分からないことも多いですが、参考にしたいと思います。」「普段知ることの出来ない大学生活のことを様々な角度から知ることが出来ました。」「実際に現役の大学生の方々にお話を沢山伺って、大学に行くまでは大変だけれど行くことができると自分の学びたい分野の勉強は勿論、サークル活動等で自分の好きなことに一生懸命打ち込めるということが分かって、心の底から大学に行ってみたい！という気持ちが沸き上がってきて、今までよりももっと真剣に進路について考えていきたいと思いました。」といううれしい声がたくさん寄せられました。

また、「とても楽しかったです！」という感想も多くありました。今年の中学3年生は、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な行事が中止となるなど、学校生活において多くの制限があった学年です。キャリア・進路に関する学習ではありましたが、学校という場所で「楽しい！」と感じてもらえる機会のひとつを提供できたのは、私たちにとっても大変うれしいことでした。

今回のプロジェクトは、企画の立ち上げから実施までの期間が短く、また、プロジェクトのメンバーも昨年度とは大きく入れ替わったこともあり、メンバー集めや企画内容の詰めという面での課題も多くありました。それでも、目を輝かせて話を聞いてくれる中学生との触れ合いはとても楽しく、学びになったようです。

中央大学附属横浜中学校のみなさん、ありがとうございました！次はぜひ、大学のキャンパスでお目にかかりましょう！

